

教科名	社会科	科目	歴史	週授業時間	2
-----	-----	----	----	-------	---

1. 教科書および副教材・参考書

教科書：中学社会『歴史 未来をひらく』（教育出版）

副教材：歴史の完全学習 1（正進社）

2. 授業の目標および内容

『歴史』という教科は、一般的に暗記科目といわれています。確かに暗記しなければならない部分たくさんはあります。定期テストの対策でも、授業の内容や、教科書等を繰り返し確認しなくてはなりません。

しかし、歴史を学ぶことはそれだけではありません。物事には「起因」があり、「経過」を経て「結果」があります。単に歴史的事項や用語のみを捉えるのではなく、その「起因」や「経過」などを学ぶこと、つまり歴史的な広い視野をもつことが大切です。また、過去に人々が遭遇した問題を解決した状況を見て、それを考察して理解することや疑問をもつことも重要なことです。「疑問」が考察力や思考力を生み、そして判断力が育まれます。「何故」と思う気持ちを大切にして、結論を導き出すための道標を自ら構築してください。その手助けを授業で行います。

中学校の『歴史』では、日本の歴史を中心に世界の歴史も学びます。現在もニュースなどで耳にする様々な事件も、歴史的な事柄が「起因」となっているものがいくつもあります。そのように事件の背景を考察する力や、人類の誕生から現在に至る文明の進化が、水流のようになっていくという認識力を養うこともこの授業での目標です。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 5月	二次 7月	一次 10月	二次 12月	期末 3月

内容・難易度について

・定期試験

「社会」として、地理と 50 点ずつ出題します（合計 100 点）。

進度によって範囲も広く、内容も深くなっていくので、いわゆる「一夜漬け」での対応は難しくなります。日々の家庭学習で理解を深めてください。

教科書・史料や授業中に漢字で表記されている語句は、正しい漢字での解答が必要です。誤字、脱字なども厳しく採点をします。

4. 課題・補習について

課題内容や詳細については事前の授業の中で指示します。

5. 評価の視点

定期試験の点数を基準に、小テストの結果や課題の評価、学習態度などを総合的に評価します。

授業計画

学期	単元	学習内容	備考
1	第2章 原始・古代の日本と世界	人類の誕生と広がり 世界各地におこる古代文明 中国文明の発生と発展 ギリシア・ローマの古代文明 宗教のおこりと文明 旧石器時代から縄文時代へ 稲作とクニの始まり 大王の支配と渡来人 7～8世紀の世界 聖徳太子の政治と飛鳥文化 大化の改新と大宝律令の制定 奈良の都と律令制下の人々の暮らし 遣唐使と天平文化	地図などを活用して世界史的内容の理解を深めるとともに、日本史との「横」の歴史の理解にも努めます。また、それぞれの地域における文化の差異についても理解を深めます。 画像や映像などを投影し、興味を喚起しながら学習します。
2	第3章 中世の日本と世界	平安の都と摂関政治 国風文化の誕生 武士の発生と武士団 院政と平氏政権 武家政治の成立と展開 鎌倉時代の人々の暮らし 鎌倉文化と新しい仏教 13世紀ごろのユーラシアの動き 元寇と鎌倉幕府の滅亡	政治史だけではなく、文化史などにも触れ、多面的な歴史的視野を深めます。 土地制度なども段階的に整理し、理解を深めます。
3	第4章 近世の日本と世界	南北朝の内乱と室町幕府の成立 東アジア世界の交流 琉球王国とアイヌ民族 産業の発達と民衆の成長 応仁の乱と戦国大名の出現 室町文化とその広がり 中世のヨーロッパ世界とイスラム世界 ルネサンスと宗教改革 ヨーロッパ人の大航海 鉄砲とキリスト教の伝来 織田信長と豊臣秀吉 豊臣秀吉の政治 南蛮文化と桃山文化 江戸幕府の成立と幕藩体制	社会経済についても分類・整理し、知識の定着に努めます。 授業時間が少なくなることもあるので、進度に注意します。

